



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 澤藤電機株式会社

コード番号 6901 URL <http://www.sawafuji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 清志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 加藤 芳宏

TEL 0276-56-7138

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	13,630	41.3	367	—	350	—	202	—
22年3月期第2四半期	9,646	△52.5	△1,093	—	△929	—	△934	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	9.40	—
22年3月期第2四半期	△43.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	15,026	3,982	25.7	179.14
22年3月期	16,066	4,076	24.5	182.62

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 3,866百万円 22年3月期 3,941百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,600	△0.7	360	—	370	—	314	—	14.54

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】2ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	21,610,000株	22年3月期	21,610,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	26,541株	22年3月期	25,242株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	21,584,238株	22年3月期2Q	21,585,197株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。また、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. その他の情報	P. 2
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 2
3. 四半期連結財務諸表	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書	P. 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日までの6ヶ月間）の業績につきましては、円高に伴う為替差損があるものの、世界的なトラック市場及び発電機市場の回復などにより、売上高は136億30百万円（前年同四半期比39億84百万円増、41.3%増）となりました。

事業別の売上高は、電装品事業は、アジア向けや米国向けトラック用電装品の受注増加から、52億90百万円（前年同四半期比21億74百万円増、69.8%増）となりました。発電機事業は、海外向け自社ブランド発電機「ELMAX」の現地在庫調整の一巡による販売増加及びアジア向けの特需に加え、米国向けOEM発電機の受注に回復もあり56億23百万円（前年同四半期比11億52百万円増、25.8%増）となりました。冷蔵庫事業は、売上高が堅調に推移したことにより、25億66百万円（前年同四半期比6億63百万円増、34.9%増）となりました。

次に、利益面では、為替による差損があるものの、固定費の削減や原価改善に取り組み、営業利益は3億67百万円、経常利益は3億50百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額1億14百万円等を特別損失に計上した結果、四半期純利益は2億2百万円となり、いずれも前年同四半期に比べ増益となりました。

なお、当第1四半期より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等適用し、報告セグメントを見直しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末は、総資産が150億26百万円となり、前年度末と比較して10億40百万円の減少となりました。保有有価証券の時価評価額の減及び有利子負債の削減等による現預金の減少によるものです。

負債は、110億43百万円となり、前年度末と比較して9億46百万円の減少となりました。長期・短期借入金等の返済と設備資金の支払い及び繰延税金負債の減少によるものです。

純資産は、39億82百万円と、前年度末と比較して、93百万円の減少となりました。四半期純利益による増加があったものの有価証券評価差額金等の減少によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

トラック市場及び発電機市場の動向など経営環境の変化や、為替動向に慎重に対応していく必要があります。平成23年3月期の連結業績予想は、売上高226億円、営業利益3億60百万円、経常利益3億70百万円、当期純利益3億14百万円と平成22年5月7日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

- ・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において採用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

- ・資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結会計期間の税金等調整前四半期純利益は1億15百万円減少しております。なお、営業利益及び経常利益に与える影響は軽微であります。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1億19百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	883	1,181
受取手形及び売掛金	4,089	4,114
商品及び製品	1,445	1,501
仕掛品	1,325	1,336
原材料及び貯蔵品	200	190
その他	97	118
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	8,031	8,432
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,008	1,064
機械装置及び運搬具（純額）	1,078	1,175
土地	1,041	1,043
建設仮勘定	139	258
その他（純額）	213	214
有形固定資産合計	3,481	3,756
無形固定資産	237	204
投資その他の資産		
投資有価証券	3,190	3,565
繰延税金資産	29	32
その他	55	73
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,275	3,671
固定資産合計	6,994	7,633
資産合計	15,026	16,066

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成22年9月30日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成22年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,215	5,306
短期借入金	1,051	1,252
未払法人税等	13	30
製品保証引当金	107	112
賞与引当金	248	244
その他	620	962
流動負債合計	7,257	7,909
固定負債		
長期借入金	261	512
退職給付引当金	2,222	2,233
役員退職慰労引当金	73	75
資産除去債務	120	—
繰延税金負債	1,107	1,259
固定負債合計	3,785	4,080
負債合計	11,043	11,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	117	117
利益剰余金	1,132	929
自己株式	△6	△6
株主資本合計	2,324	2,121
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,626	1,848
為替換算調整勘定	△83	△27
評価・換算差額等合計	1,542	1,820
少数株主持分	116	134
純資産合計	3,982	4,076
負債純資産合計	15,026	16,066

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	9,646	13,630
売上原価	9,817	12,426
売上総利益又は売上総損失(△)	△171	1,204
販売費及び一般管理費	922	836
営業利益又は営業損失(△)	△1,093	367
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	18	26
固定資産賃貸料	15	19
為替差益	121	—
その他	38	8
営業外収益合計	195	54
営業外費用		
支払利息	16	9
為替差損	—	50
固定資産賃貸費用	6	6
その他	8	6
営業外費用合計	31	72
経常利益又は経常損失(△)	△929	350
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
有形固定資産処分損	2	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	114
その他	—	25
特別損失合計	2	141
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△929	208
法人税等	4	12
少数株主損益調整前四半期純利益	—	196
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△6
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△934	202

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。